

令和2年度 学校評価表

学校教育目標	この島に生まれ育った誇りと自信を持って、学び続ける生徒の育成		
ミッション	地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展	ビジョン	中学生がリーダーシップをとって島の活性化を図る。具体的には、地域等と連携し、持続可能なまちづくりの提言を行う。福山市立大学の指導を仰ぎ、取組の充実を図ることで2年後にユネスコスクールへ加盟し、志を同じくする世界の学校と連携する。

尾道市立瀬戸田中学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	7月	1月	達成度	評価	結果と課題の説明	二次評価			改善案	
					達成値	達成値				イ	ロ	ハ		
知	主体的に学ぶ生徒	1 教師の授業力の向上	・各種学力調査等の分析と授業改善 ・「課題発見・解決学習」の授業実践	80%	① 102.6 (82.1)	① 97.5 (78.0)	B	B	①ICTを活用したわかりやすい授業作りに向けて、校内研究授業を通じて授業改善を図った。学習内容が複雑になった1年生、入試に向けての題演習を行う3年生で数値が下がっている。②③12名全員が研究授業を行い、教育委員会より指導を受けた。授業教の関係もあり、全員の授業参観が難しいという状況もあったが、授業を交流することができた。④1年生で、まだ習慣化できていない生徒がいるが、学びの基礎作りとして、遅れてもやりきらせる指導が有効であった。⑤図書ボランティアや図書委員の活用を通じて意欲を向上させたい。	3			ICTの活用と研修をより積極的にすすめ、学習意欲の向上と学力アップにつなげてほしいと思います。	研究授業を全員が行っただけでなく、道徳の研修を行うなど、コロナ禍の中でできる限りの研修を行うことができた。新学習指導要領の施行となる来年度に向けて、早い段階で指導内容や方法、評価について研修を行い、生徒に学力をつけ、達成感を与える授業づくりを行う。また、家庭学習や読書の取組を継続的にを行い、学びの基盤づくりを行う。
	2 生徒の家庭学習と読書の習慣化	・全学年でセミナー学習（復習プリント）を実施 ・読書通帳の活用	④セミナー学習の達成率80%以上 ⑤読書量：月2冊以上の生徒80%以上		②③ 16.7 (16.7)	②③ 100 (12名)								
徳	自己肯定感が高い生徒	1 ボランティア活動の充実	・生徒会の活性化とリーダーシップ	80%	① 100	① 100	B	B	①今年度は新型コロナウイルス感染症のため、ボランティア活動を行っていない。 ②1学期の値を下回った。行事等が行えず、生徒の活躍場面を作ることが十分でなかったが、1、2年生に向けたSST（ソーシャルスキルトレーニング）など、自己を開示したり、他者を受容することを通じて自己肯定感を高めるなど、長期的な視野に立った取組を行った。	3			コロナのため、諸行事の中止はやむを得ないが、一日も早く終息し、社会生活・学校教育活動が正常に戻ることを願うばかりです。	SSTの実施や、SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）など、専門的な知見を取り入れて、生徒の自己肯定感の向上につなげたい。行事やボランティア活動では、責任をもってやりきったり、人の役に立ちたい経験を積みまわしていきたい。
		2 学校行事等の充実	・行事の事前・事後の活動の充実		②生徒アンケート項目「自分にはよいところがある」の評価80%以上	② 90.0 (72.0)								
体	心身共にたくましい生徒	1 基本的な生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ご飯」（寝る時刻・起きる時刻・夕食の時刻の3点固定）の徹底	80%	① 105.4 (84.3)	① 94.1 (75.3)	A	B	①生活リズムの崩れが見られる生徒がいる。ほけんだり等での呼びかけは行っているものの、保護者への啓発も必要めて情報の発信を続ける必要がある。 ②3年生が引退し、1、2年生中心の部活動となったが、おおむね積極的に活動できている。	3			コロナ禍の中で様々な行事が制限される中で、部活動ができなかったり、生活リズムが乱れるなど今までにない難しい面が多くあり生徒にとっても先生にとっても大変と思いますが、生徒・保護者に今後もアンケートをとるなどして、精神面のケアも今まで以上にやってほしい。	睡眠不足の生徒に向けて、休休に休息を取る場所・時間を設けるなどの取組をし、生活習慣についての意識の向上を図る工夫を続けていきたい。部活動については、1、2年生が中心となり、新たな目標を設定して積極的に活動している。大会等が行われるようになれば、さらに具体的な目標を立てさせ、生徒の自主性を育む活動としていきたい。
		2 体力向上等に励む生徒	・部活動の参加率		②生徒アンケート項目「部活動にほぼ毎日参加している」の評価80%以上	② 103.4 (82.7)								
信	信頼される学校	1 ふるさと学習の充実	・「総合的な学習の時間」リニューアル	80%	① 112.1 (89.7)	① 109.6 (87.7)	A	A	①レモンを使ったメニューの開発（1年）、地域のPR動画（2年）、ARを利用した観光マップ（3年）など、成果をあげることができた。 ②行事など、保護者の来校が減った状況を踏まえ、生徒の姿が伝わるよう頻りにHPでの情報公開を行った。 ③前回よりも達成率が上がっているが、引き続き働き方改革の取組を進めたい。	3			必要な情報を公開する方法としてホームページ等の活用を引き続き行ってほしいと思います。コロナ禍の中で生徒だけでなく先生にとっても困難な状況があると思えますので、働き方改革を進めてほしい。	生徒の取組が成果物として目に見える形になったことで、地域への貢献や達成感を得ることができた。本年度の成果と課題を引き継ぎ、地域学習を深化させ、地域生まれ育った誇りと自信をもった生徒を育成していきたい。情報発信については、コロナ禍の中工夫して行ってきたが、再び休校等になる可能性も視野に入れ、来年度に向けてどのような発信ができるか模索していきたい。
		2 働き方改革の推進	・積極的な情報発信 ・時間外労働の縮減		②生徒・保護者のアンケート項目「学校はホームページ等で積極的に情報公開している」の評価80%以上 ③全職員、時間外労働80時間/月以下	② 121.3 (97.0)								

【自己評価・評価】
 A：100≦（目標達成）
 C：60≦（もう少し）<80
 B：80≦（ほぼ達成）<100
 D：（できていない）<60
 【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。